

11/26

荒川区立赤土小学校 報告

クリーンエイド + ワークショップで
人とゴミ、ゴミと動植物の関係を学ぶ

子供たちは、総合的な学習の時間で自然破壊や発展途上国の現状、エネルギー問題などについて考えてきました。そこで見えてきた「持続可能な社会」。人と動植物が共存している里山の生活の一部(無農薬のお米や野菜を作り、なめこのコマ打ち)を体検しました。今・・・自分たちができることを考え、登下校時にゴミ拾いをしています。今回の荒川クリーンエイド作戦では、体験を通して、身近な自然(植物や昆虫)の存在に気づき、荒川の現状を知ることができました。ゴミ拾い体験後には、「ゴミが生き物に与える影響を考えるワークショップ」を行い、人とゴミ、ゴミと動植物の関係を学べたことも貴重な学習となりました。2, 3月には、子供たちが中心となってクリーンエイドをする予定です。

(江崎 淳一 先生)

